

ようこそ

ぐんまのランドマークへ

—新旧の歴史 様々な文化
新たなる未来に向かって発展する県民の象徴です—

県庁舎一帯は、かつて徳川家康より「関東の華」と賞された名城前橋（舌くは厩橋）城がありました。

その後、明治維新で廃藩置県となった折り、前橋城の本丸を庁舎として使用したのが県庁舎の歩みの始まりです。

やがて新たな庁舎を建設することになり、昭和3年に現在の昭和庁舎が完成しました。昭和庁舎は平成8年国の登録文化財の認定を受け、保存改修工事が施され、新たな県民文化の拠点として生まれ変わりました。

県政の発展に伴って増改築を行ってきた県庁舎ですが、県民サービスの向上と効率的な業務運営のため、警察本部、県議会と順次建て替えを行い、平成11年には現在の県庁舎が完成しました。

以来、群馬の自治と文化の発展のシンボルとして、県民に親しまれています。

「県民の県庁」として、バリアフリーや環境配慮に努め、皆さまにご利用いただける施設やスペースもご用意しております。

皆さま、ぜひご来庁ください。



ランドマーク【Landmark】

街や地域等を印象づける地理的な景観上の目印。
歴史的建造物や高層建築物などを指す場合が多い。